

「暮らし」と「食」を
データで振り返る

1989-2019



平成の家族。

そして、どんな未来が待っているのか――。

1989 平成元年 を振り返る

メインテーマ

[住まい]

東京ガスの食のキーワード

「家庭料理を基本から応用まで」

時代の背景

株式や不動産などが、説明がつかないほどの高騰を見せていました。「サラリーマンはマイホームを持てるのか」が、衆議院の物価問題特別委員会で集中審議されたほどでした。そして、12月29日、ついに日経平均株価は今も破られていない最高値3万8957円44銭を付けます。

家族の物語

夫・隆は、保険会社に勤めています。業績好調で、収入に不満はありません。都内とはいえ、築年数の経った団地住まいで、家賃を抑えていたため、自己資金がある程度たまりました。「家を買うなら、マンションより一軒家」という希望は、妻・恵子と一致していました。



夫 隆 (33歳)



妻 恵子 (29歳)



長女 愛 (3歳)



長男 翔太 (1歳)

報道によると東京圏の一戸建ては「サラリーマン世帯の年収の16倍」だとか——。さあ、決断のときです。